

第73回 国民体育大会選手選考基準

沖縄陸上競技協会強化部

1 国体予選会（国体参加資格）

- ① 第31回海邦国体記念競技会兼国体選考会（4/15～16）
- ② 第69回沖縄陸上競技選手権大会兼国体選考会（5/5～6）
- ③ 第40回沖縄県中学校陸上競技選手権（5/19～20）
- ④ 第63高校総体陸上競技沖縄県予選会（5/26～29）
- ⑤ 第64回全日本中学校通信陸上競技（沖縄）大会（6/23～24）
- ⑥ 長距離国体最終選考会（第38回新報児童オリンピック大会終了後7/21）
- ⑦ 第73回国体最終選考会（8/12～13）

上記の予選会に出場しなかった選手、または出場しなかった種目については選考対象外となる。また、1種目の予選に出場し、代表選手となったものは、予選会に出場しなかった他の1種目にも出場できる場合もある。また、**3000m、5000m、競歩**に関しては7月21日、**新報児童オリンピック大会終了後のナイターにて最終選考とする。**

2 選考対象競技会（国体選考会を含む）

日本陸上競技連盟が公認とする競技会、記録会すべてとする。

3 選考基準

1) 国体選考基準記録（有効期限 平成29年9月～平成30年8月13日）

2) 期限内に沖縄陸上競技協会強化部が設けている国体選考基準記録（A・B）をもって選考する。

- ① 基準記録Aを突破したものの中から選考する。
- ② 基準記録Aの突破者のなかった種目については、基準記録Bを突破したものの中から選考する。
- ③ 突破者が複数いる場合は、各種大会の成績等を考慮して選考する。
- ④ **標準記録Aの設定**については、国体決勝進出に値する記録として、**前年度ランキング成年20傑、少年A20傑、少年B30傑**を基準とする。
- ⑤ **標準記録Bの設定**については、国体予選突破に値する記録として、**前年度ランキング成年70傑、少年A70傑、少年B100傑**を基準とする。

3) リレー種目の編成に関しては、**国体選考会及び選考対象競技会の結果を参考に特性を配慮して**

選考する場合がある。その場合、原則として1名以上が短距離種目に於いて標準記録B突破を条件とする。

4) 突破者がいない場合は、基準記録と今年度の参加予想選手の競技レベルを調査し選考する場合もある。国体出場の最大枠である29名以下の選考もあり得る。

5) 長距離・競歩に関しては、標準記録A・Bを突破しなくても、県記録、県高校記録を樹立した段階で選考の対象とする。

- 6) 長距離種目については、下記のように設定し、前年度9月以降の記録から選考の対象とする。
(普及強化重点種目の為)
- ①少年A男子5000m(14'50"00)以内
 - ②少年共通女子3000m(9'45"00)以内
- 7) 県外実業団所属選手について、標準記録を突破した時点で選考の対象とする。
(但し、上記1で記載されているいずれかの大会に出場していることを条件とする。)